

当協会ホームページ(会員ページ)にて カラー版「瓦版」を公開しております。会報「かながわ」のページをご覧ください！

～ビル名変更に伴う住所変更のお知らせ～

当会事務局が入居しておりますビル名が、8月1日より下記のとおり変更となります。

〒231-0032 横浜市中区不老町 3-12 **加瀬ビル 201 2階**

(旧:横浜市中区不老町 3-12 第3不二ビル 2階)

【告知】トライアルメンバー制度(お試し会員制度)がはじまります！

入会ツールの一環として、本年10月より、トライアルメンバー制度(お試し会員制度)を開始いたします。

制度の詳細については後日発表いたします。

未入会の方へ入会をお勧めする際には是非お役立てください。

(神事協 HP 告知パンフ掲載 URL) <https://j-kana.or.jp/main/apps/wp-content/uploads/2019/07/trialmember.pdf>



〈今後の講習会等開催日程のお知らせ〉

～各講習会等の詳細はホームページ(URL: <https://www.j-kana.or.jp>)よりご確認ください～



委員会主催 講習会等

◆『実例に基づく調査方法と鑑定書の書き方』講習会

日 程: 令和元年8月20日(火)

場 所: 横浜市技能文化会館 2階多目的ホール

時 間: 受付13:15～ 講義13:30～16:50(予定)

※「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」必修研修

◆逗子まちあるき/海、山がつくりだす変化にとんだ景観を楽しむツアー

日 程: 令和元年10月19日(土)

集 合: JR逗子駅東口 改札前

時 間: 集合12:45 開催13:00～17:00

案内同封

案内同封

スポーツ大会

◆秋のスポーツ大会

日 程: 令和元年9月27日(金)

場 所: 伊勢原ボウル(〒259-1145 伊勢原市板戸 442)

時 間: 集合17:30～ 競技18:30～20:20(予定)

懇親会: 20:30～ レストラン CIZA(伊勢原ボウル2F)

※申込方法は、各支部からの案内にてご確認ください。

案内同封

全国大会

◆第43回建築士事務所全国大会(福島大会)

日 程: 令和元年10月4日(金)

場 所: とうほう・みんなの文化センター

法定講習

◆令和元年度 第2期 管理建築士講習

日 程: 令和元年9月26日(木)

場 所: 神事協2階会議室

《予告》 ※詳細は後日お知らせ致します。

◆賛助会フェア

令和元年11月1日(金)～2日(土) 万国橋会議場にて

◆◆神事協 BIM パッケージを販売！◆◆

昨年度技術専門委員会で開催の BIM 勉強会にて説明頂いた2社より、**神事協特別価格で BIM ソフトを販売**します！

この機会にぜひ業務改善・生産性向上を図りませんか？

※詳細は配信済の各情報メールよりご確認ください。

GLOBE「神事協 BIM パッケージ」

賛助会 福井コンピュータアーキテクト(株)

(神事協情報メール[member:01136]2019/06/25 13:47 配信)

問い合わせ先: 福井コンピュータグループ総合案内

TEL 0570-039-291(ナビダイヤル)

『ArchiCAD』

グラフィソフトジャパン(株)(販売: 株)大塚商会)

(神事協情報メール[member:01139]2019/07/01 16:57 配信)

問い合わせ先: 株)大塚商会 神奈川 CAD 販売課 柳沼

TEL 045-453-7231

広報情報委員会からのお知らせ

◆◆広報誌への寄稿のお願い◆◆

表紙写真・「建築探訪」・「会員仕事紹介」・

「旅行記」原稿を募集しております。

事務局まで“どしどし”ご応募ください！

広報誌担当: 広報情報委員会

会長 教えて！！



1. 組織改革ってなぜ？

当たり前のことをくどくどと言いますね。

人が集まり、活動する時にはルールが必要で、目的を決めて実行します。

その手段として、各自の役割分担を形にし、組織になります。

時代の変化や法律の改正等の外からの要因や、目的の変更、集まった人の考え方の変化によって、組織は徐々に変わっていきます。時に変更せざるをえない場合もあります。

ドイツの哲学者ニーチェは言っています。

「脱皮出来ない蛇は滅びる」

この格言は、企業経営の警鐘としても使われる言葉です。

神事協の組織改革は必要なの？

神事協の話になりますが、今回なぜ組織改革が必要かということになります。

平成から令和の時代になり、建築業界を取り巻く環境は急激に変わろうとしています。いや、すでにかなり変わって来ています。気づいてか、気づいていないか、あまり設計事務所を経営している方々は動こうとしていないように感じます。

設計ツール（道具）一つ取っても、平成の時代はCADが普及して小規模事務所でも情報処理等、相当役に立ち、合理化と品質向上につながったと思います。

令和の時代は、BIMやAIがさらに設計の内容を変えようとしています。この流れを考えていかなければ今後の方向が見えてこないと思います。全てではないですが、重要な要素です。

変わらないと思っていると、クライアントの考え方や施設（建築）に求める内容もどんどん変わっています。建築に求めている寿命も、長寿命化もあれば、インテリア並みに短いスパンの場合もあります。ことごとくコモンセンス（常識）の範囲が広がり、コモンセンス（※「建築表現とコモンセンス」<http://www.arch.cst.nihon-u.ac.jp/koho/shunken/pdf/19970117.pdf>）という概念は死語のようです。

神事協の改革の内容はどうか？

神事協の組織改革は、体制の合理化と硬直した組織維持体制からの脱却転換にあります。組織は、出来た時から保身に走ります。当然のことですが、変貌を遂げる世の中に対応出来ません。必要なテーマに弾力的で即応性のある組織でなければいけません。

その第一段として、動ける組織を目指しての改革と考えています。

若手の会員（現役世代）を中心に検討してもらった方向性を実現させるには必要なことです。

話は少々堅くなりましたが、せっかく集まったのですから楽しくなければ意味がないし、無駄な時間になります。いちばん大事なのは、神事協ライフが役に立ち、居心地がよい場所になることです。こんな会になれば成功です。

皆で考え、作っていきましょう。もちろん、神事協の65年に及ぶ伝統は素晴らしいですが。



2. 常設委員会とは何をするのですか？

組織運営のために必要な委員会で、即応性とは矛盾するかも知れませんが、この会に求められる基本的な内容を受け持っています。ただ、活動内容は日々見直しを行うことが必要です。

求められる内容は、法定団体としての使命、日事連からの関連での要請、行政からの要請、支部ブロックとの連携等が中心になります。特に、ブロック支部委員会は、支部と本会との連携にとって改めて活動内容と方法を考え、運営してもらいたいと考えています。

特別委員会は続きますか？

今まで神事協発で活動してきたテーマを中心に、常設的に対応する委員会を考えています。さらに、委員会の活動内容は見直しを繰り返し発展できればと思います。

「災害時対策特別委員会」は、自然災害が頻発する中、情報整理と共に活動の明確化が求められます。地道な日常の活動の中で神事協の今後の姿も考えたいですね。

「住・緑・家」については、神事協発のユニークな委員会で、将来的にも現役世代にとっても発展させたい委員会です。

専門委員会は、どういう方向で進めますか？

この委員会は、新しいテーマを組織的に対応し方向性を見出す、インキュベータ機能（生み育てる）を基本理念として活動するための委員会です。委員会は、必要に応じて常設的に活動が進めば、特別委員会に移行したり、テーマが実現出来たら廃止することを前提に活動してもらう委員会で今必要なテーマを探る活動も同時に行って、戦略企画委員会の中で検討されて行きます。



3. 青年部会ってどうなるのですか？

次世代を担う人材であると同時に、今回の組織では50歳未満の神事協会員（正会員・所員・賛助会員）と規定しましたので、現実に現役世代とも言えます。

この年代の人が中心になり、課題や対外的なアピールイベントの企画等に取り組んでいく中で、スキルアップや情報交換の場にしていければと思います。

自分たちが必要なことを考え、役に立つことを活動にしてもらえればと考えています。もちろん、神事協からのバックアップも大事です。



4. 戦略企画委員会は何を目指しますか？

この委員会が、今回の組織改革のキーになる委員会です。

統括委員長会の運営の充実化と即応性の強化のために、各委員会、支部から提案された課題の調整と運営管理を行います。報告中心であった形式から一歩進める運営会議の実現を仕切る委員会です。独立した運営を期待している各委員会との連携も重要な役割で、会が一体化出来るかどうかの試金石となります。現役世代を中心にした活気と瞬発力を期待した委員会で、今後の神事協の方向性を見出してもらいたいと思います。

新しく変わる神事協を、会員の皆様と共に育てていきましょう！